

社協だより

— 広げよう支えあい！つなごう地域の力！ —

- 2025年1月発行 -

社会福祉法人
黒松内町社会福祉協議会
TEL : (0136) 72-3124
FAX : (0136) 72-3838
mail : kuro-shakyo@
festa.ocn.ne.jp
HP : https://kuro-shakyo.
sakura.ne.jp/



ホームページ
QRコード



第43回 黒松内町社会福祉大会



10月27日、黒松内町民センターにおいて、第43回黒松内町社会福祉大会を開催しました。大会は、本会会長の式辞に始まり、表彰式典では、18名の方々に1団体が表彰され、記念講演では、国立病院機構函館病院名誉院長の伊藤一輔氏をお招きし、「笑いと健康のステキな関係」という演題で、笑いが心と体にもたらす影響について講話をしていただきました。

開催日が衆議院議員総選挙と重なり、準備や片付けを関係者の皆さんに色々と手伝って頂いたことや、参加者の皆様ならびに当日お手伝いをして下さったボランティアの皆様のご協力もあり、大会を盛会のうちに終了することが出来ましたことに、改めて御礼申し上げます。



令和7年 新年のご挨拶

明けましておめでとーございませう。
皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
日頃より、地域福祉を推進する団体であります社会福祉協議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年一月一日、能登半島を震源とする地震と津波により多くの人命が奪われ、家屋の損壊やインフラ設備に甚大な被害をもたらしました。復旧が進められる中、九月の豪雨災害により石川県では再び大きな被害に見舞われました。一日も早い復旧・復興を心から願っております。
新型コロナが5類に移行し、ようやく普段の日常を取り戻した感がありますが、長期に渡ったコロナ禍の影響による福祉課題は未だ深刻さを残しています。

長引く円安や原油高による物価高騰は、私達の生活や暮しを一層厳しいものになりました。そんな中、スポーツ界では昨年夏に開催されたパリ五輪女子やり投げの北口榛花選手やアメリカ大リーグ・ドジャース大谷翔平選手をはじめ、道内ゆかりの選手が大活躍した喜ばしい年でもありました。

社協では四月、新たに令和七年度から令和十一年度までの地域福祉実践計画がスタートします。住民一人ひとりが協働し、ともに支え合って、生活における楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心して、その人らしい生活を送ることができる社会「ともに生きる豊かな地域社会」の構築に向け、取り組んで参ります。

地域での見守りや安否確認をはじめ、あらゆる社会資源を活用し、生活支援体制の充実、社協の多様性と柔軟性をいかし、関係機関と連携し、町民の皆様が安全で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めて参りますので、特段のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金、日赤、社協会費など、皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。新年のご挨拶と致します。

黒松内町社会福祉協議会

会長 津田 利幸

しめ縄づくり体験交流会



12月7日に、しりべし学園「ふらっと」にて、ふれあいのまちづくり事業・しめ縄づくり体験交流会を行いました。

しりべし学園成人寮・遊部施設長の挨拶の後、職員の方からしめ縄づくりの説明を受け、作業が開始されました。

参加者の中には毎年、このしめ縄づくりに参加されている方もおり、慣れた手つきで作業をされていましたが、それでも手子摺ることもあり、しりべし学園成人寮の利用者の方と試行錯誤しながら、思い思いのしめ縄を完成させ、満足されているようでした。

独居高齢者外出支援事業（秋のバス旅行）



10月21日、社協の安否確認事業利用者・ボランティアの皆さんを対象とした秋のバス旅行を実施しました。

今回の目的地は八雲町で、参加者の皆さんは、日頃、町内で買い揃えることのできない衣類などを中心に購入されていました。

また、昼食は遊楽亭に立ち寄り、食欲の秋という言葉が表しているように、参加者の皆さんは、それぞれ注文した料理に舌鼓を打ち、満腹になられたようでした。

黒松内町身体障害者福祉協会の活動について



11月13日、島牧村ふれあい交流センター・おあしすで開催された「令和6年度身体障害者南後志ブロック研修会」に参加しました。

研修では、参加4町村對抗のゲーム大会が行われ、本町の成績はラダーボールでは2位、的入れボールゲームでは3位という結果になりました。

ゲーム大会以外にも、お楽しみ抽選会が行われ、本町の会員が見事に1等を引きました。

木の葉交流会



11月18日にふれあいのまちづくり事業・木の葉交流会を行いました。

この事業は緑ヶ丘老人ホームとの交流事業でホーム利用者の方と地域の方、ボランティアも合わせて17名が参加し、木の葉で作品づくりを行いました。

参加者のみなさんは、この日のためにきれいに押し干した葉や花を持参して下さり、素敵な作品を作り上げていました。そして久しぶりに懐かしい方にも会うことができてとても楽しい時間を過ごすことができました。

黒松内町子ども会育成連合会 クリスマスリースづくり



12月14日に開催した、子ども会事業のクリスマスリースづくりに20名の方が参加してくれました。

飾り付けたドライフラワーはハーブの会の方に頂いたもので、リースのブドウのつる、ナナカマド、松ぼっくりは、講師の佐藤さんが町内で集めてくれたものです。

黒松内の自然を生かし、かわいく飾り付けた個性あふれるリースがたくさん出来上がりました。

黒松内町老人クラブ連合会の活動について



10月10日余市町にて「第45回 後志地区老人クラブ大会」が開催され20名が参加しました。
本町では1名が表彰を受け、芸能発表では2名がカラオケを披露しました。
講演会では講師が黒松内町の北のヤシの木を題材にしたお話を披露され、みなさんとても興味深く聴いていました。

10月17日、仁木町にて「後志地区老人クラブ パークゴルフ交流会」が開催され、本町からも1名が参加しました。

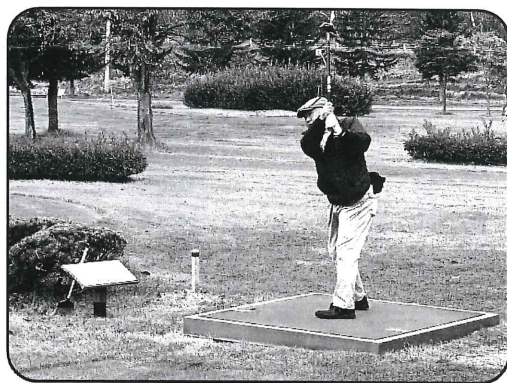
少し風が強く寒さもありませんが、青空の中プレーすることができました。

参加者の皆さん練習の成果を發揮し、他町村の会員とともにスポーツの秋を楽しみました。

11月12～13日、蘭越町にて「小樽・後志地区管内老人クラブリーダー研修会」が開催され、6名が参加しました。

研修会では、はちみつ自然療法について学び、驚きの新発見がたくさんあり、交流会では、おいしい食事を囲みながらカラオケとビンゴで大盛況でした。

他町村会員とも交流ができ、にぎやかな夜を過ごしました。



黒松内手話会の活動について



12月1日、泊村公民館で開催された「第51回クリスマス会の集い」に参加しました。

後志ろつあ協会・山野会長の開会挨拶に始まり、余市町手話会が赤鼻のトナカイを手話で披露し、午後からは、それぞれの参加手話会（余市、黒松内、倶知安、仁木、岩内）による催し物が披露され、本町は「しらゆき姫」を演劇で発表しました。

会場からは、たくさん拍手をもらい、これまでの練習の成果が実を結びました。

チームオレンジ活動開始



チームオレンジとは、認知症の方やその家族の気持ちに寄り添い、悩みなどを聴きながら必要な支援につなげる役割を担うチームです。

今回、9月に開催した認知症研修会への参加をきっかけに、4名の方が集まり、認知症になっても地域で元気に活躍し、安心して暮らしていけるまちづくりを一緒に考えてくれました。

一人一人の想いに合わせて活動していくことが大切だという事を確認し、これからの活動について考えました。

チームオレンジはどなたでも参加することが可能です。興味のある方は社協までご連絡ください。

くまげらの会交流会



11月24日、黒松内町総合市民センターにおいて、くまげらの会の皆さんと社協安否確認サービス利用者の方々とボランティアの皆さんが一堂に会し、ふれあいのまちづくり事業・くまげらの会交流会を開催しました。

アトラクションでは、「しりべし学園成人寮和太鼓クラブ」の皆さんによる和太鼓の演奏が披露され、参加者の皆さんもその迫力に呑み込まれているようでした。

この他にもビンゴ大会を催し、数字が揃う度に、参加者の皆さんから大きな歓声が沸き起こり、楽しいひと時を過ごされたようでした。



黒松内つくし園より 奨学資金支給のお知らせ

社会福祉法人黒松内つくし園では、母子・父子世帯、施設入所などの経済的な理由により、能力があるにも関わらず就学が困難な方に対し、無償で学費の一部として「奨学資金」を支給しています。

【支給対象者】

経済的に就学困難な母子・父子世帯、施設入所者で、次の各号に該当する支給希望者。

- ① 学業優良、品行方正かつ身体健全である者
- ② 生計を一にする者の事情により、奨学資金を受けることを希望する者
- ③ 原則として黒松内町に世帯の住所がある者
- ④ 高校、高等養護学校などに就学する者

【奨学資金申込の手続き】

次の書類を令和7年3月31日までに「社会福祉法人黒松内つくし園」へ提出してください。

- ① 奨学資金支給願書・誓約書（つくし園規定の様式）
- ② 学業成績証明書（通知書等のコピーで可）
- ③ その他必要書類（つくし園が提出を求めた場合）

【支給金額】（在学期間1年間の支給上限額）

- ・高等学校又は高等養護学校 50,000円

※現在受給されている方も、継続して支給を希望される場合には、再度申し込みが必要です。

【お問い合わせ】黒松内つくし園法人本部事務局 Tel 77-2833（担当：岡田 一之）
奨学資金原資への寄附金も募集しております。皆様のご協力お願い致します。

雪ミク・クリアファイルについて

今年度も北海道共同募金会より雪ミクのクリアファイルが2種類発表されました。
300円以上の募金で1枚プレゼントしております。数に限りがございますので、お早めにお求め下さい。



Art by yuutera10 © CFM

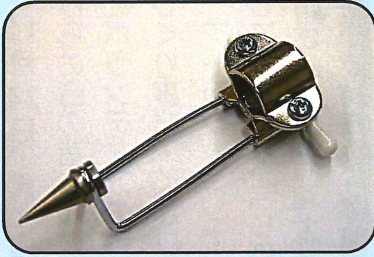


Art by しゅいそ © CFM

杖先用アイスピックについて

冬本番を迎え、転倒防止のために杖先にアイスピックはいかがでしょうか。積雪・凍結路面で滑りにくくなります。
社協窓口において、ピン型・王冠型をそれぞれ1個¥1,870円(税込)で販売しておりますので、必要な方は、お立ち寄りの際にお声がけ下さい。

【ピン型】
積雪路面に強い



【王冠型】
つるつる路面に強い



ご協力ありがとうございました



ありがとう!
赤い羽根共同募金



10月1日より展開してありました「赤い羽根共同募金運動」と12月1日より展開してありました「歳末たすけあい運動」は12月31日をもって終了しました。
昨年は町民の皆様、町内会、商店、企業や各団体等より温かい善意を賜りましたことにお礼申し上げます。
集められた募金は黒松内町を始めとする北海道の地域福祉に役立つよう活用させていただきますので、今年も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

あたたかいご寄附
ありがとうございます

皆様のご寄附は地域福祉推進のため、有効に活用させていただきます。

- ・ 秋吉 和彦様
- ・ 菅原 玲子様
- ・ 松原 京子様
- ・ 小原 繁様
- ・ 小林 憲子様
- ・ 舟橋 幸子様
- ・ 釣谷 聡様
- ・ 稲垣 政則様
- ・ 奈良 正幸様
- ・ 佐々木輝夫様
- ・ 三坂 司様
- ・ 津田 利幸様

【令和6年8月～11月】

(順不同)